

令和 8 年度第 1 回宮崎県周産期医療協議会協議概要

1. 会議の基本情報

日 時：令和 8 年 7 月 2 日（木） 17:30～19:30

場 所：県防災庁舎 2 階 プレスルーム大

進行者：桂木会長（議事進行）、松尾補佐（協議会進行）

出席者：事務局（健康増進課長ほか）及び各専門委員、オブザーバー

2. 議題 1：第 8 次宮崎県医療計画の中間見直し及び現計画（周産期医療）の概要について

事務局より、令和 6 年 3 月策定時のデータを基準とした現計画の進捗が説明され、実態に即した計画への修正・是正方針が以下の通り示された。

○医療従事者データの適正化と精緻化

・現状と課題

現行計画の医師・助産師数は令和 2 年時点の数値であり、実態を反映していない。また、単なる資格保有者数では、分娩現場のマnpワ-を正確に計れない懸念がある。

・更新方針

「分娩を実際に取り扱っている医師数・助産師数」を軸としたデータ更新を行う。

・アドバンス助産師に係る検討課題

実態把握の徹底

資格保有者数だけでなく、外科や手術室勤務等の「潜在化」している層を除いた、産科実務に従事する人数の把握。

更新制度の影響

2023 年以降の更新時期に伴う人数変動の注視。

経済的負担軽減

取得・維持に多額の費用（登録料約 5 万円、研修費約 10 万円）を要することから、看護職の育成・確保の観点に基づき、他県の事例を参考とした県による公的支援の必要性について。

○目標達成状況の確認

・母子保健事業の周知

県内全 7 箇所の周産期母子医療センターにおいて、市町村の母子保健事業を妊産婦へ説明する体制が整備され、目標を達成していることを確認した。

○病床数の実効性確保とコンプライアンス

・数値の是正

現計画の NICU 病床数は、診療報酬上の加算取得有と無の合計数となっているので、加算取得病床数を表記した方が良いのではないか。

3. 議題 2：本県における周産期医療の現状について（非公開）

4. 議題 3：第 8 次宮崎県医療計画（周産期医療）における施策の評価及び見直し方針（案）について（非公開）

5. その他：宮崎大学における高度生殖医療センターについて（非公開）